

2019年3月15日  
日本生命保険相互会社

## 子育てと仕事の両立可能な社会の実現に向けた取組について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、保育事業者である株式会社グローバルキッズ（社長：石橋宜忠、以下「グローバルキッズ」）と業務提携し、企業主導型保育所の活性化に資する取組を進めてまいります。

具体的には、企業主導型保育所のサービス内容や空き状況等を専用のサイト上にまとめ、子育てと仕事の両立支援策を検討する企業に福利厚生サービスとしてご案内することで、企業の従業員の方々に、円滑に企業主導型保育所をご利用いただける環境を整備してまいります。

上記取組にあたっては、まずはグローバルキッズが2018年6月よりサービスを開始している「えんマッチ」※を活用する予定であり、全国の設置事業者や企業の参画を募りつつ、今後の事業化を視野に入れた検討を進めてまいります。

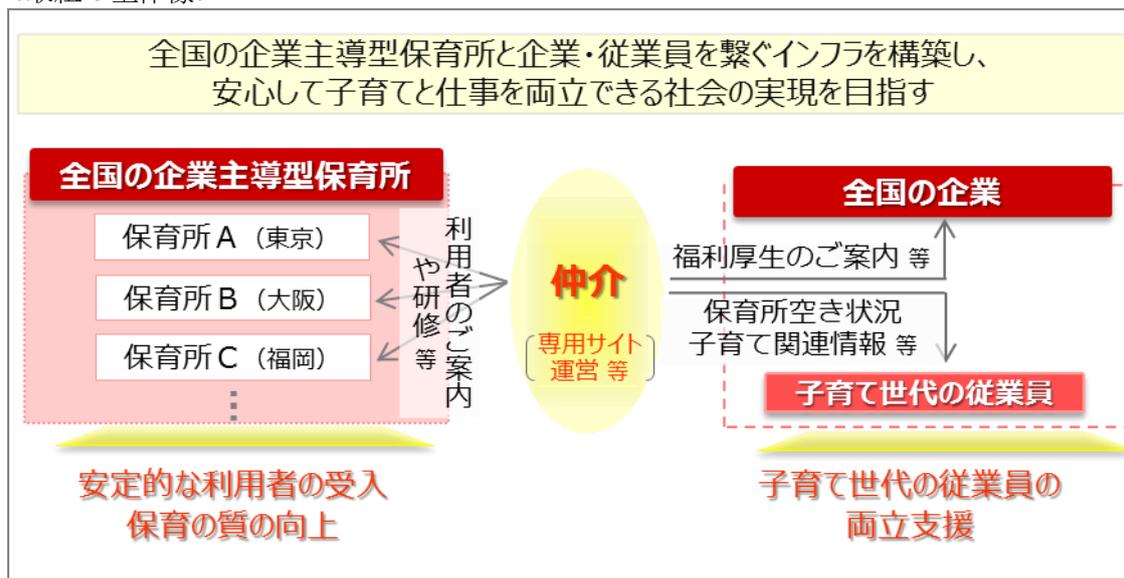
※首都圏を中心にグローバルキッズが支援する企業主導型保育所の空き状況を管理し、企業の担当者が空き状況を把握できるサービス

また、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターと共同研究のうえ、企業主導型保育所に関する調査研究等に基づき各種情報提供や研修を行う予定であり、保育の質の向上に資する取組を進めてまいります。

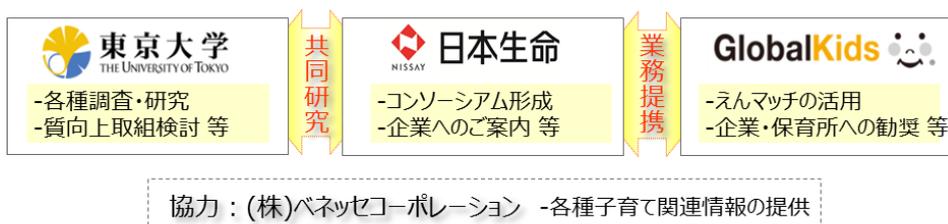
加えて、子育て世代の従業員の方々に対しては、株式会社ベネッセコーポレーションの協力のもと、各種子育て関連情報のご提供を進めてまいります。妊娠・出産・育児情報誌「たまごクラブ」「ひよこクラブ」や、子育てママを中心とした口コミサイト「ウィメンズパーク」を運営しており、同社に協力いただく中で、子育て世代に寄添った取組の検討を進めてまいります。

当社は、子育てと仕事の両立を支援する取組、および保育業界の発展と安定に資する取組について、様々な企業や関係団体と意見を交えながら、発展的な取組の可能性を模索していく方針であり、「人生100年時代をリードする企業グループ」として生命保険だけではカバーできない価値の提供を通じ、人々の生活の安定と向上に寄与してまいります。

<取組の全体像>



<役割イメージ>



<東京大学発達保育実践政策学センター（秋田センター長）のコメント>



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センターは「あらゆる学問は保育につながる」を理念にし、子ども、保護者、保育事業者、地域の個人と社会の幸せのためにあらゆる保育施設の質向上に関わる学術研究を行い、そこで生み出される知見に基づき公益のために使用していただくことを目的として生まれた、国立大学で初めての保育の学術研究センターです。そこでは産官学との協働に基づく協創探究を目指しています。

このたび、日本生命と共に企業主導型保育をよりよく利用し、そこに通う子どもたちの園の質の保証と向上について協創探究することは、待機児童解消という社会的な課題に対して取組むと同時に、質の高い保育をすべての子どもたちにとという理念において一致すると考え、協働させていただくこととなりました。

企業主導型保育制度はまだ始まったばかりであり新設園も多くあります。その制度固有の可能性や課題について共に探究し、質の高い企業主導型保育で全国で尽力しておられる園の好事例を紹介し、また質向上のために取組める評価方法等について、日本生命や保育事業者と共に考えてまいります。

保育の質向上や監査・第三者評価制度の必要性について、その在り方の検討を通して企業主導型保育の良さと可能性を一緒に考え、子どもやご家庭に貢献したいと考えています。

<関係先の概要>

○株式会社グローバルキッズ

1. 名称	株式会社グローバルキッズ
2. 創業	2006年5月23日
3. 主な事業内容	保育所・学童保育施設の運営 開園希望者へのコンサルティング実施 他
4. 本社所在地	東京都千代田区富士見二丁目14番36号
5. 代表者	代表取締役社長 石橋 宜忠 代表取締役 中正 雄一
6. 従業員数	3,072名 ※2018年11月時点（グループ全体）
7. 資本金	3,000万円

○株式会社ベネッセコーポレーション

1. 名称	株式会社ベネッセコーポレーション
2. 創業	1955年1月28日
3. 主な事業内容	教育・生活事業
4. 本社所在地	岡山県岡山市北区南方 3-7-17
5. 代表者	代表取締役社長 小林 仁
6. 従業員数	2,183名 ※2018年3月末時点
7. 資本金	30億円

以上